THE YOMIURI SHIMBUN
2015年(平成27年)
讀賣新聞 10月21日 水曜日

最新MRI導入 診断、より正確に

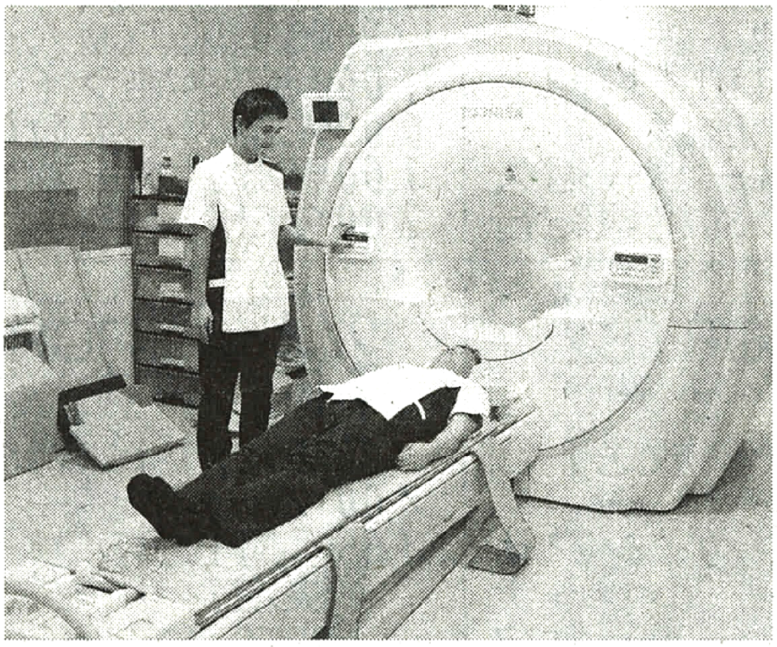
橋本・紀和病院

橋本市岸上の医療法人南労会・紀和病院は、今月から最新のMRI（磁気共鳴画像装置）を導入した。従来の機種より鮮明な画像が得られ、脳梗塞や認知症などの早期発見につながると期待される。

同病院が12年間使っていた装置を廃棄し、国内メーカーが今月から発売している装置に更新した。患者が入る開口部内で、磁場の揺らぎをより安定させる新システムを搭載しており、画像の鮮明度が1・4倍に向上し、医師がより正確な診断が可能になった。また、開口部の直径が従来機の60センチから71センチへ拡大し、患者への圧迫感が軽減。振動や音も少なくなったという。

同病院放射線科の国眼勇技師長(50)は「病気の有無や原因を突き止めたり、病気を予防したりと様々な医療に活用したい」と話している。

問い合わせは同病院（0736・33・5000）。



紀和病院が導入した最新のMRI（橋本市で）